

2016 年度 NGO 支援事業「草の根プロジェクト提案のためのスキルアップ研修」 実施報告

JICA 中部市民参加協力課

1. 背景及び目的

2015 年度に草の根技術協力事業の支援型の制度が見直され、より小規模の団体が草の根技術協力事業に参画できる制度となった。2015 年 12 月の第 1 回目募集には、多くの相談や提案が寄せられたが、プロジェクト計画の立て方や提案書の書き方に課題が見受けられた。そこで、今後応募を検討している団体が、プロジェクトの立案・計画のポイントを理解し、提案書作成のスキルを習得できるよう、実践的な研修を実施することとした。

2. プログラム内容

研修名：草の根プロジェクト提案のためのスキルアップ研修

実施日：（1 日目）2016 年 5 月 14 日（土）10：00～17：00

（2 日目）2016 年 5 月 29 日（日）10：00～17：00

実施会場：JICA 中部センター セミナールーム

講師：1 名

参加者：9 団体 14 名、市民参加協力推進員 2 名

研修内容：

【1 日目】

- ・自己紹介
- ・（講義）プロジェクト立案、提案書作成のポイント
- ・（ワークショップ）各団体によるロジックモデル（プロジェクト目標、アウトプット、活動の組み立て）の作成
- ・（発表）2 団体によるロジックモデルの発表
- ・個別相談

【2 日目】

- ・（講義）支援型の審査項目について
- ・（発表）支援型提案団体による提案書の発表
- ・（講義）パートナー型の審査項目について
- ・（発表）パートナー型提案団体による提案書の発表
- ・個別相談

3. 成果

本研修に参加した 14 団体のうち、ほとんどの団体が、とりあえずの形ではあるが、提案書を書き上げることができた。研修前に比べ、団体のプロジェクト目標、アウトプット、活動のロジックが明確になり、団体の「～したい」という思いをロジックモデルで整理することにより、冷静に「誰のための、何のためのプロジェクトなのか」を熟考する機会となった。

参加団体には、至近の支援型、パートナー型募集に応募予定の団体が 5 団体含まれて

いた。研修の結果、事業の枠組みを大きく変更し、より現実的な事業計画を立てることができるようになった団体もいた一方で、準備・調整不足が露呈した団体もいた。また、今回の研修を通じて、自団体が目指す活動は草の根技術協力事業の枠組み内で実施するのは難しそうだと実感した団体もいたようであり、それも大事な成果である。

JICA側にとっては、団体の提案内容の把握に加えて、団体が何に困っているのか、どのように説明すると理解してもらえるのか、学ぶことができた。

4. アンケート結果（アンケート回収数 12 枚）

問1 第1日目のプロジェクト計画、提案書の書き方のポイントについてのセミナーは参考になりましたか？

とても参考になった11人、参考になった1人、普通0人、不満0人

問2 第2日目の参加団体による提案書の発表会は参考になりましたか？

とても参考になった9人、参考になった3人、普通0人、不満0人

主なコメント

- ・プロジェクト目標、アウトプットがそれぞれ何なのか、またそのロジック、組み立て方などが勉強になりました。困ったら目標に立ち返る、という点を大切にしたいと思います。
- ・書類を書き直すモチベーションが上がった。
- ・「プロジェクト目標」、「アウトプット」「活動」の違いが分かった。
- ・申請書の書き方の全体の流れがつかめた。
- ・発表した後の（足りない部分の）コメントが役に立つと感じた。もう少したくさんコメントがあればと残念。（自分が他団体の発表を見て弱い部分や足りない部分が見えたが、自分自身が書いたものを何度読み直してもなかなか同じようにみえてこない。）
- ・問題の解決方法が分かりました。
- ・当団体の目指す方向性、JICAの問題意識、相手国の状況について知ることができた。
- ・アウトプットの立て方が分かり、すっきりできた。
- ・申請書の書き方のみではなく、申請に係る考え方などを学ぶことができた。
- ・先生の経験が豊富で、とてもよかったです。役に立ちました。
- ・第三者（自分たちの活動を全く知らない人たち）へ自分の計画を紹介することで、頭の整理ができ、自分では気づかない問題点を指摘してもらったこと。
- ・今回計画していた内容について、やるべきことが明確になりました。

以上